

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団三思会 くすの木病院
所在地	群馬県藤岡市藤岡607-22
沿革	別紙参照

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	214床	0床	80床	80床	54床	0床
	平均在院日数(※1)	0.0日	15.8日	51.7日	206.4日	
	病床稼働率(※2)	0.0%	89.9%	60.8%	91.1%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	214床	0床	80床	80床	54床	0床	0床

2025年に向けた病床活用の見通し	ケアミックス病院の強みを生かしつつ、さらに公立藤岡総合病院様との連携を密にし、地域で完結できる医療体制を構築していきます。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	31科 (別紙参照)
------	------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	人工透析、リハビリテーション、人間ドック等健康診断				



将来(2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	人工透析、リハビリテーション、人間ドック等健康診断				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	藤岡総合病院	高崎総合医療センター	群馬大学医学部付属病院
主な紹介先医療機関	藤岡総合病院	高崎総合医療センター	群馬大学医学部付属病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 多岐に渡る 診療機能	<p>消化器・肝臓内科をはじめ、腎臓内科、糖尿・内分泌内科、循環器内科、整形外科、乳腺甲状腺外科にそれぞれ専門医が在籍し、専門性の高い診療及びスムーズな院内連携を図りながら患者様への診療を行っております。歯科口腔外科では、口腔外科医と歯科麻酔医がチームで診療を行っており、この両分野の医師が揃って在籍している医療機関は県内でも2か所のみです。</p>
特徴的な 健診センター	<p>専門医及び担当スタッフが高度医療機器を利用し、生活習慣病、定期健康診断、特定健診に対応しております。脳ドックや歯科ドック、ロコモ健診といったメニューも揃え、受診者様が元気で健やかな毎日を過ごせるようお手伝いさせていただきます。</p>

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>一般、地域包括、回復期リハビリ、療養の4種の機能に加え、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として感染症にも積極的に対応しています。また、透析センターでは120名余の患者様の維持透析を行っており、当地域において唯一夜間透析を実施している病院でもあります。さらに、充実の医療機器を配備し、専門性の高い診療を行っており、これらの機能を活かし、地域の医療機関や福祉施設との連携を図り地域医療の充実に努めています。健診センターでは、人間ドックや企業健診を実施しています。</p>
当院の未来像	<p>数年後に移転・新築を計画していますが、中でも消化器内科は6人体制でほぼ全分野をカバーしており紹介患者様の増加から西毛・北埼玉地域の中心的機関として発展していけるものと考えます。また、整形外科医の増員により手術にも注力していく所存です。高齢者医療に関しては全分野を受け入れる体制になってきており、さらに充実させていく予定です。新病院もこれらの機能に配慮した設計を計画しており、藤岡総合病院様との連携も充実させていく予定です。</p>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>超高齢化社会を見据え、急性期医療から療養まで地域で完結できるよう、その一翼を担っていきたいと考えております。</p>

くすの木病院 沿革

年号	年	月	事 項
昭和	62	6	医療法人社団三思会 島田記念病院 開院 (一般 85 床) 内科、外科、整形外科を標榜
昭和	62	6	保険医療機関の指定
昭和	62	6	生活保護法医療機関の指定
昭和	62	6	救急医療告示機関の認定
昭和	62	7	更正医療機関の指定
昭和	62	9	一般 85 床から 140 床に増床
昭和	62	12	結核予防法医療機関の指定
昭和	63	2	労災保険医療機関の指定
昭和	63	6	一般 140 床から 256 床に増床
平成	1	8	原子爆弾被害者一般疾病医療費の支払いを受ける医療機関の指定
平成	4	4	風の子保育所 開設
平成	6	6	一般 256 床より 251 床に変更
平成	8	11	標榜科目に歯科口腔外科、アレルギー科、リウマチ科を追加
平成	9	3	HLA 検査センターの指定
平成	10	5	一般 251 床から 199 床に変更
平成	11	5	一般 199 床から 35 床を療養病床へ
平成	15	4	訪問看護ステーションいきいき神川の指定
平成	16	12	新棟増築 (療養病棟、理学・作業療法室、MRI 室、内視鏡室、X-TV 室) 一般 164 床から 160 床へ変更、療養 35 床から 54 床へ増床
平成	17	4	回復期リハビリテーション病棟 開棟 (一般 120 床、療養 54 床、回復 40 床)
平成	17	10	病院名称変更 (島田記念病院からくすの木病院へ)
平成	17	12	PET センター 開設
平成	20	9	標榜科目に矯正歯科を追加
平成	20	10	化学療法室、医療相談室の移設
平成	20	11	標榜科目の追加・変更 消化器内科、内視鏡内科、肝臓内か、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、ペインクリニック内科、放射線診断科、臨床検査科、救急科
平成	21	5	禁煙認定施設の認定
平成	21	9	歯科外来診察室一部改修工事

年号	年	月	事 項
平成	23	3	外来診察室一部改修工事
平成	23	5	医療相談室改修工事、診療情報管理室の移設
平成	23	10	風の子保育所 新築移設
平成	23	11	化学療法室、調剤室、無菌製剤室、医療安全管理室の移設
平成	24	2	情報システム室、医療クラーク室を設置 霊安室、言語聴覚室1・2を移設
平成	25	10	病理室を設置
平成	26	6	標榜科目に神経内科を追加
平成	27	4	巡回健診事業 開始
平成	27	12	地域包括ケア病棟 開棟（一般80床、療養54床、回リハ40床、包括40床）
平成	27	12	敷地内全面禁煙 開始
平成	28	4	禁煙外来 開始
平成	30	1	創立30周年記念講演会 開催（みかぼみらい館）
令和	2	4	帰国者接触者外来 開始
令和	2	7	新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定
令和	2	9	発熱区域 設置
令和	3	1	PCR検査機器導入
令和	3	3	コロナワクチン接種 開始
令和	3	6	PETセンター廃止
令和	3	6	1階フロア売店撤廃
令和	3	7	新型コロナウイルス（COVID-19）陽性者入院受入れ 開始

令和5年1月現在

(別紙)

診 療 科 目

1	内科	21	皮膚科
2	呼吸器内科	22	泌尿器科
3	循環器内科	23	リハビリテーション科
4	消化器内科	24	放射線診断科
5	血液内科	25	臨床検査科
6	糖尿病内科	26	救急科
7	内分泌内科	27	歯科
8	肝臓内科	28	矯正歯科
9	腎臓内科	29	歯科口腔外科
10	内視鏡内科	30	麻酔科
11	人工透析内科	31	血管外科
12	ペインクリニック内科		
13	神経内科		
14	外科		
15	呼吸器外科		
16	消化器外科		
17	乳腺外科		
18	肛門外科		
19	整形外科		
20	リウマチ科		

2022. 04. 01現在

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	医療法人 育生会 篠塚病院
所在地	群馬県藤岡市篠塚105-1
沿革	昭和53年 6月 藤岡診療所を開設 昭和59年 1月 篠塚病院を開設 平成 1年 12月 老人保健施設藤岡みどりの園を開設（併設） 平成 6年 6月 藤岡みどり訪問看護ステーションを開設 平成 9年 3月 在宅介護支援センター藤岡みどりを開設 平成12年 3月 藤岡みどりホームヘルプステーションを開設 平成12年 5月 認知症対応型共同生活介護施設グループホームアオノスミを開設 平成26年 6月 サービス付き高齢者住宅フォレスト開設 令和 3年 8月 介護医療院しのづか開設

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	74 床	0 床	20 床	15 床	39 床	0 床
	平均在院日数(※1)	19.0 日	71.0 日	215.0 日		
	病床稼働率(※2)	91.5 %	99.6 %	98.8 %		

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	74 床	0 床	20 床	15 床	39 床	0 床	36 床

2025年に向けた病床活用の見通し	在宅からの肺炎入院など、地域一般病床としての活動をより活発に行い、回復期リハビリテーション、包括ケアなど、在宅復帰を目指した支援を強化していく予定です。 また、難病の患者様とご家族が安心して在宅生活を継続できるように、必要時のレスパイト入院や適時のリハビリテーション入院なども継続予定です。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	9 科 (内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、心療内科、精神科、リウマチ科、リハビリテーション科)
------	---

現在	がん	〇	脳卒中	〇	心血管疾患	〇	糖尿病	〇	精神疾患	〇	在宅医療
	救急	〇	災害	〇	へき地		周産期		小児	〇	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション									



将来 (2025年)	がん	〇	脳卒中	〇	心血管疾患	〇	糖尿病	〇	精神疾患	〇	在宅医療
	救急	〇	災害	〇	へき地		周産期		小児	〇	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション									

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	公立藤岡総合病院	高崎総合医療センター	公立富岡総合病院
主な紹介先医療機関	公立藤岡総合病院	高崎総合医療センター	くすの木病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 神経内科、精神科双方からアプローチ可能な医療機関	<p>〈神経内科、精神科双方からアプローチ可能な医療機関〉</p> <p>県内でも数少ない、脳神経内科専門医と精神科専門医が常勤している医療機関です。臨床の場では、両方の科の専門的アプローチが必要な疾患や、どちらの科に受診したらよいか分かりにくい疾患があります。双方の科の専門医が同時に診察したり、直接相談できる体制があるのが特徴です。</p>
特徴的な 包括的な医療を支えるチームワーク	<p>〈包括的な医療を支えるチームワーク〉</p> <p>「疾患だけを見て人をみていない」医療とならないよう、一人の患者さまの状態について、全人的・総合的な観点から、高次脳機能、身体、精神の状態を包括的に評価し、内科、脳神経内科、精神科の各科専門医師が連携して適切な治療を行っています。ご高齢の方は、疾患が一つではないことが多く、また、疾患の治療だけではなく、生活環境も含めた包括的なアプローチが必要になります。群馬県認知症疾患医療センターの委託、藤岡市の認知症初期集中支援チームの委託を受けて活動してきた、精神保健福祉士、社会福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護支援専門員など、専門生をもったスタッフが、地域での生活や介護についてご相談し、実際の生活に役立てられるようお手伝いをしていきます。</p>

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>一般病床、地域包括ケア病床、回復期リハビリテーション病床、医療療養病床、介護医療院があります。一般病床では在宅の方の肺炎などの入院治療、地域包括ケア病床ではいろいろな疾患で入院を必要とする患者さまご本人およびご家族との細やかな相談を通じて必要があればリハビリテーションを行い、退院への道筋をつけるチーム医療を行っています。回復期リハビリテーション病床では、脳梗塞など定められた疾患の方を対象に、在宅復帰を目指して集中的なリハビリテーションを中心としたチーム医療を行っています。医療療養病床では、難病患者さまの療養入院、一時的なレスパイト入院などがあります。介護医療院では、介護療養病床として24時間体制の看護が受けられるのが特徴です。</p> <p>また、平成22年からは県の委託を受けて認知症疾患医療センターが運営されています。脳神経内科の専門医が詳細に診察や検査を行い、診断、治療、生活について多職種協働で認知症全般について支援しています。平成29年からは藤岡市の委託を受けて、認知症初期集中支援チームも運営しています。ご家族が困っておられる事案などに関して、専門チームのスタッフがご自宅まで訪問し、医療介護につなげるシステムであり、最初の相談窓口は藤岡市地域包括支援センターとなっています。</p>
当院の未来像	<p>超高齢化社会が始まっていますが、患者さまの「身体」と「心」を通じた総合的な関わりを持ち、患者さまを中心とした医療介護だけでなく、福祉とも連携しながら地域で安心して過ごすことができる体制を充実させていく予定です。同時に、今後大きく飛躍すると想定される神経内科・精神科の医療については、最先端の医療を提供できるようにより専門性を高め、関係機関との連携にも引き続き力を注いでいきます。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>超高齢化社会にむけて、変化していく身体についてのご相談や、ご自身とどのように向き合っていくか、共に相談しながら考えていく場である医療機関を目指していきます。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人和光会 光病院
所在地	群馬県藤岡市本郷1045
沿革	昭和58年：光診療所(19床)にて開設 昭和62年：医療法人和光会設立 昭和63年：医療法人和光会光病院として(急性期)80床へ増床 平成14年：新築移転(電子カルテ化) 平成15年：光クリニック開設 平成22年：デイサービスもも、サ高住さくら、居宅介護支援事業所もも開設 平成29年：光クリニック廃止、ショートステイあんず、藤虎の門デイサービス開設 平成30年：(急性期)68床(回復期)12床 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計		高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休棟中等	
	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	
	80	床	0	床	68	床	12	床	0	床	0	床
	平均在院日数		日		14.0 日		27.0 日		日		日	
	病床稼働率		%		73.8 %		81.9 %		%		%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計		高度急性期		急性期		回復期		慢性期		廃止		介護保険施設等への移行	
	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	
	80	床	床	床	60	床	20	床	床	床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	2018年に一般病床80床のうち12床を地域包括ケア病床に変更。 また、今後も状況に応じ地域包括ケア病床の増床を計画していく予定です。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	10 科 (内科、循環器科、血液内科、外科、消化器科、整形外科、肛門科、産婦人科、小児科、皮膚科)
------	---

現在	<input type="checkbox"/>	がん	<input type="checkbox"/>	脳卒中	<input type="checkbox"/>	心血管疾患	<input type="checkbox"/>	糖尿病	<input type="checkbox"/>	精神疾患	<input type="checkbox"/>	在宅医療
	<input type="checkbox"/>	救急	<input type="checkbox"/>	災害	<input type="checkbox"/>	へき地	<input type="checkbox"/>	周産期	<input type="checkbox"/>	小児	<input type="checkbox"/>	その他
	「その他」の具体的な機能		人工透析、人間ドック等									



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/>	がん	<input type="checkbox"/>	脳卒中	<input type="checkbox"/>	心血管疾患	<input type="checkbox"/>	糖尿病	<input type="checkbox"/>	精神疾患	<input type="checkbox"/>	在宅医療
	<input type="checkbox"/>	救急	<input type="checkbox"/>	災害	<input type="checkbox"/>	へき地	<input type="checkbox"/>	周産期	<input type="checkbox"/>	小児	<input type="checkbox"/>	その他
	「その他」の具体的な機能		人工透析、人間ドック等									

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	藤岡総合病院	群馬大学付属病院	高崎総合医療センター
主な紹介先医療機関	藤岡総合病院	高崎総合医療センター	虎の門病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 幅広い対応力	診療内容の幅が広く、一般診療以外に虎の門病院医師による整形外科専門外来、群馬大学医師による乳腺専門外来等を開設しています。心臓の冠動脈撮影から、バルーン、ステントによる治療、各臓器の血管撮影、子宮動脈造影と塞栓術、ペースメーカー植え込み、高気圧酸素治療、無輸血治療等も実施しています。特に女性には脱毛、ニキビの跡、血管腫、シミ取りも好評をいただいています。分娩に対応している医療機関は、地域で公立病院と当院の2か所のみとなりました。
特徴的な 介護リハビリ施設	通常のデイサービスは女性の利用者が多く、定年後の男性の引きこもりからフレイル、サルコペニア、認知症に進行した事例をケアマネから相談を受け、ニーズが多いことから、県内唯一の本格的な室内ゴルフ練習場をデイサービスとして開設しました。男性に限定はしておらず、通常のデイサービスも運営し、医療機関として幅の広い、専門性のある施設を運営しています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域においてファーストコンタクトしやすい気軽な雰囲気醸しつつ、救急病院として24時間365日救急患者を受け入れられる体制を維持しています。高度な治療が必要と判断された場合は、適切かつ速やかに転医ができる体制を整えおり、患者ファーストの治療判断をしています。地域の特養からのニーズで連携先が急増しました。地域包括ケアシステムに参加する上で回復期病床への転換と在宅医療の展開に遅れがあり、現状の課題となっています。
当院の未来像	超高齢社会は長寿になった賜物であり、医療機関の役割は如何に適切に資源を利用して健康寿命を延ばすか。地域での困りごと、ニーズに対して医療の専門性を活かして如何に貢献できるか。地域に回復期の病床が不足していることから適切な割合で急性期の病床を回復期へ転換します。退院後、医療的ケアが必要で、住まいに戻れず、施設にも入所できない方が受け入れられる場を創造します。同時に自宅療養を希望する患者のニーズに対応できるように在宅医療の展開を行います。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	救急医療はもちろん、地域の医療機関様及び各施設様との連携をより深め、救急医療から在宅復帰までの、患者様のニーズに合わせた幅広い医療を提供し、地域住民の方々の笑顔を支える病院になれるよう、職員の力を合わせ、努力して参ります。